

はあと・ほっとステーションはまだ

2004.12

Vol.25

「今年一年を振り返って」

プロ球界が揺れています。有力オーナーが退任しても、おさまりそうにありません。根底からの地殻変動だからでしょう。こういった現象は野球界に限ることはないと思います。政治、経済、金融、教育、社会保障など、どの分野でもこれまでのやり方では21世紀を乗り切れないということがはっきりとしてきました。たくさんの解決すべき問題点が露呈し、小手先の対処ではごまかしきれないのです。枠組みを根本から見直し、まったく新しい方式が求められるようになってきました。

今年一年を振り返る時、行ってきた出来事の多さに改めてビックリします。これは、医療業界も大きな変革期にあること、そして、私たちにその時代の急速な変化に対応しようと努力してきた証だろうと思います。本当に的確な対応となっているのか心許ない気持ちになるのですが、評価は地域からの信頼を勝ち得ることができるかどうかにかかっていると思います。人事考課による賃金制度の導入や管理者・スタッフ向けの教育・研修事業など院内向けの出来事は除き、地域や患者さんと関連したことを主体に、今年をおさらいしたいと思います。

平成16年1月の始まりからこれまで6年にわたり続けてきた整形外科の日曜・祝日を含めた365日診療を通常の診療に変更しました。日曜・祝日にも診療するということは、それだけスタッフがばらまかれることを意味します。当院での診療を支える整形外科医は平日の業務に手一杯で、休日の診療を担当するには量的に不足しており、これを続けることは全体の診療レベルが低下するおそれがあると判断して、決断しました。日曜、祝日に起こった整形外科の外傷に対しては、救急施設への受診の後、患者さんのご希望や担当した医師の判断でご紹介いただく形となります。

こうした地域における連携を進めるために、昨年から企画している「整形外科地域連携をすすめる会」を今年度も3月と10月に2回実施しました。この地域での整形外科診療に携わるものが集い、顔見知りとなり、また、お互いの得意分野を知

ることで、必要な患者さんに適切な整形外科診療が提供される円滑な流れが生まれることを願ってのものです。



島田病院

4月には医療保険制度の中での技術やモノの料金表ともいふべき「診療報酬」の改定がありました。高騰する医療費を抑えようとする政府の思惑から、0%改定といいながら値下げが実施されたという結果です。同じ診療行為でもこれまでよりも安くなったということです。患者さんから見れば歓迎すべき改定でも、医療機関にとっては重要な経営問題となります。早速、この改定で盛り込まれた「亜急性期病床」に取り組みました。急性期病床に入院していた患者さんがリハビリテーションを続けながら自宅に帰っての生活をする準備をする機能を持った病床です。身体機能に加えてご自宅の状況など、これまで以上に情報を収集し、抵抗なく普段の生活に復帰されることをサポートしています。

5月には、整形外科の新患者さんに対する予約を受け付けることにしました。長すぎるとご批判を受けることの多い当院の診療待ち時間を何とか解消しようと、再診の患者さんにはご利用いただいていた予約診療制度ですが、初めて来られる患者さんにも拡大しようという試みです。開始してみて、現在、準備した診察の枠の約半数をご利用いただくようになっています。予測よりも低いのですが、初めて受診される方に知っていただく広報が現実には難しいことを痛感しています。しかし、2度ほど実施した待ち時間の調査では、予約をお取りになった患者さんの診療は最大でも15分以内に実施できており、改善の効果と認識しております。ただ、診療の性格上、予約という用語を持つ「厳密なお約束の時間」とはならず、お叱りを受ける場面もあります。予約とはいいつつ、あくまで「診療の優先権」という形での運用をこれからも続けていきたいと考えています。

(裏面につづく)

< 島田病院 理念 >

人間愛と確かな技術に基づき
職員全員による患者さま本位の
ヘルスケアサービスを通し
地域の積極的な健康づくりに
関与する病院を目指します

< 使 命 >

良質のヘルスケアサービスを
効率よく地域の方々に
提供し続けます

< 職員憲章 >

私たちは、その人がその人らしく
自分の人生を全うすることを
心(Heart)と技術(Hands)で支援します

インフォメーション

ペインクリニックでは、 神経ブロックを主体とした治療を行います。

腰下肢痛、糖尿病性神経障害による痛み、脳血管障害後の痛み、帯状疱疹後の痛み、閉塞性動脈硬化症・パージャー病など血行障害にともなう痛み、カウザルギー、反射性交感神経性萎縮症、三叉神経痛など顔面の痛み、頭痛、癌の痛みなどが対象となります。

こうした病気でお困りの方は、ペインクリニックを受診ください。
(麻酔科医長 竹内 一雄)

受診日 月曜・水曜・木曜(完全予約制)

予約受付(整形外科) ☎ 0729-53-1051

診療部

禁煙マラソン

禁煙マラソンという言葉が聞かれたことがおありでしょうか？最近“禁煙マラソン”という方法で、禁煙に取り組まれている方も少なくありません。これは禁煙マラソンに登録して、メールを通じてサポートを受けていくシステムです。奈良女子大学の



高橋裕子教授が主宰されているシステムです。ホームページから参加できますので関心のある方はご参照ください。アドレスは <http://www.kinen-marathon.org/> です。禁煙はマラソンのようなものと思います。と申しますが、
も禁煙を試みる方は少なくありませんが、

再喫煙に陥る方も少なくありません。特に再喫煙した時のタバコのおいしさは格別だそうです。かえって深く吸い込むようになることもあるそうです。

先日10年間禁煙されていた方がふとした機会にタバコを吸われ、元の喫煙者に戻ってしまいました。このように禁煙とはマラソンのように目標に向かってたゆまぬ継続が必要なものであり、持続しないといけないものだと思います。

島田病院ではこのような方に持続的に禁煙のお手伝いをしたいと思っています。そして肺などの病気の予防に努めさせていただきたいと思っています。

(内科医長 植田 秀樹)

看護部

円座の弊害

褥瘡(床ずれ)の発生要因について

- 身体的要因: 自由に体を動かさない・
栄養不良(貧血・むくみなど)・高齢
- 物理的要因: 圧迫・摩擦・ずれ・湿潤・外傷・かぶれなど
- 精神心理的要因: 痴呆・うつ状態・意欲低下などによる
長時間の同一体位

今回は、円座の弊害についてのお話です。

従来のケアでは「^{かかと}局部を浮かす」ことが重視されていました。そのため、褥瘡 踵 円座などの方程式が存在していました。ところが、最近では円座の弊害が指摘されるようになってきました。円座を使用すれば、確かに局部を浮かすことは可能です。

しかし、円座に触れている面の皮膚は引っ張られ、かつ圧迫が加わります。さらに、面積が狭いゆえに、容易に虚血状態(循環不良状態)が起こりやすくなります。

円座使用は続けても弊害であり、円座除去時にも、虚血状態に至っている局部が床に降られることで直接に圧迫を受け、物理的な理由から褥瘡発生要因を高めることになってしまうのです。

このような状況下で、**局所の虚血状態改善のためとしてマッサージなどが行われたら、局所では圧迫などを受け、組織耐性の低下が起こり、組織障害を人為的に助長することになります。**

褥瘡委員が推奨するケア

例えば、踵を局所で支えるのではなく、下腿全体(膝から足先まで)を受けることで踵を浮かす方法が有効です。同じ体重であっても、より広い面積で受けることができれば、体の圧は分散されるので、できるかぎり広い面積で受け、なおかつ踵骨突出部である踵全体を浮かすことができます。しかし、踵の場合は、尖足(足首を下に曲げた状態)にならない様に注意して下さい。

(看護部2階病棟主任 西田 正美)

平成16年11月1日～大阪府の各種医療費の助成制度が変更となりました。

一部負担金助成(63歳以上の方)
障害者医療
ひとり親家庭医療費
乳幼児医療

これらの証明書・医療証をお持ちの方は
11月1日より、一つの医療機関あたり
入院・通院とも1日につき
各500円(月2日限度)のご負担を
お願いすることになります。

但し、1ヶ月あたり最大2日(1000円)を限度とします。

- ・医療機関が異なる場合は、それぞれの医療機関で限度までご負担いただく必要があります。
 - ・同じ医療機関でも「入院」と「通院」は、それぞれ別に最大2日分までご負担頂く必要があります。
- 1回の負担金が500円に満たない場合は、その額をご負担いただき、差額は徴収いたしません。

詳しくはお住まいの市町村の各医療費助成担当課にお問い合わせください。

6月には羽曳野市におけるモデル事業である「介護予防トレーニング事業」の委託を受け、当院および疾病予防施設ヴィゴラスからの人員派遣を行っています。今後予定されている介護保険の見直しの中でも柱の一つとされている「介護予防」には、今後も積極的に関わっていきます。

7月には従来から手術の麻酔を担当している河崎診療部長に加えて、もう一人の麻酔科医として竹内一雄医師が赴任しました。竹内医師は疼痛を管理したり、時には自律神経の異常やアレルギー疾患にも効果のある治療を行う「ペインクリニック」の専門家です。当院では外来診療の新しい科目としてこの「ペインクリニック」を開設し、治療を開始しています。これ以外に、多くの外科治療分野で取り入れられている「内視鏡」による治療手技を、従来からの膝関節だけでなく、肩関節や腰椎にも広げようと、担当する医師は技術習得に努力するとともに、特殊な器具を導入しました。これにより、傷跡が小さくなり、同時に、早期から動くことが可能となるため、入院期間も回復期間も短縮させることが可能となります。野球選手の肩、肘の障害、また、椎間板ヘルニアや中高年の脊柱管狭窄症の治療がより合理的に、効率よく実施できるようになったと考えています。

8月には、当院の結核病床を160床から53床に削減しました。50年以上の歴史のある結核診療ですが、昨今の罹患率の低下による患者数の減少と抗結核薬の効果的な使用により、入院期間が短縮したことが背景としてあります。これまでのような病床数は不要となってきたのです。この分野の社会的な状況により、これからもどのような対応を取るべきか、課題を残しています。また、待望久しいMRIの新機種が導入され、運転を開始しました。これまでの機種より高機能であり、はるかに診断に有用な画像が提供されるようになっております。しかし、この導入に際して、思わぬ騒音が真上の病床に響き、療養環境に影響するという事態が発生しました。防音対策を講じながら、病棟全体の環境整備へと計画を進展させ、食堂との入れ替えや個室のトイレ・洗面の改修など、快適な入院生活を送っていただくための工事を実施しています。最終的には、12月にすべての改修が終了する予定です。

この月には、私たちの診療を見守り評価し、また、地域からのご意見をいただく場として設定しております「モニター会」を開催しました。メンバーの皆様からいつもながら、厳しくも愛情あふれる評価やご意見をいただき、管理者一同、気を引き締める思いで拝聴致しました。また、同月、私は当院に関連しているオリンピック出場選手の応援にアテネに出張致しました。そこでの経験は、これからのスポーツ選手の診療に必ず生かすことができると考えています。

9月にはラグビーのトップリーグの近鉄ラグビーチーム「ライナズ」と正式に契約を結び、チームドクターとしての活動を始めました。選手の健康管理やドーピングなどの検査の立

ち会いを行うこととなります。トップリーグ開催中、毎試合に医師が現場に出向き対応しています。

当院は南河内圏域の地域リハビリテーション支援センターで、その活動の一つとして「摂食・嚥下リハビリテーションセミナー」を主催しました。医師、言語聴覚士(ST)以外にも理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、看護師、保健師など259名の参加があり、リハビリテーション、ことに食べることの障害についての関心の高さを実感しました。

10月、当院の大きな行事の一つである「スポーツ選手・指導者交流会」を行いました。11回を迎えるこの会では、普段、治療において、治療者と患者という構図ではなかなか話にくい点を、同じくスポーツに関連し愛好する仲間として、課題などを話し合おうという意図で毎年開催してきました。今年は神戸製鋼ジェネラルマネジャーの平尾誠二氏を講師としての講演会と懇親会で盛り上がりました。

11月、第13回の院内学会「はあと&はんずアカデミー」が行われました。島田病院だけでなく八尾はあととふる病院、悠々亭、その他すべてのグループの人たちが集まり、さまざまなテーマでの研究報告や問題提起を行い討議します。優秀な演題は表彰され、外部学会での発表を指示されます。日常診療で流されてしまう課題を立ち止まり、より良いケアサービスの構築へみんなの知恵を出し合おうという趣旨です。

そして、12月。この原稿を書きながら一年のスピードに今さらながら驚いております。地域の中で信頼され、必要とされる病院となるために、不足なこと、伸ばさねばならないこと、改革すべきこと、切り捨てた方がいいことをスタッフと知恵を出し合い熟考しながら、それでいて素早く時代に対応していきたいと思っています。

本年一年間、本当にお世話になりました。来年もよろしくお願ひ申し上げます。

島田病院 院長 島田 永和



整形外科 初診予約診療のご案内

予約専用電話 0729-53-1051

予約電話受付時間

月火水金曜 9:00~12:00/16:00~19:00

木曜 9:00~12:00

土曜 9:00~15:30

お気軽にご利用ください。

～ちょっとトクする話～

健康食材シリーズ 3

大豆の健康機能

最近、大豆食品の健康機能が注目されています。今まで私たち日本人は、豆腐・納豆・味噌・しょうゆなど大豆をうまく食生活にとりいれてきました。食の欧米化が進み生活習慣病やがんなどリスクが高くなった現在、改めて大豆食品の摂取量の増加を呼びかけています。大豆には、高脂血症・高血圧・がん・骨粗鬆症などを防ぐ多彩な健康機能が証明されています。

生活習慣病を防ぐ大豆の健康機能

骨粗鬆症

大豆の有効な成分

イソフラボン
大豆たんぱく質
カルシウム

大豆はカルシウムのすぐれた補給源であるだけでなく、破骨細胞の働きを抑え、骨代謝のバランスを整えるイソフラボンを含みます。

が ん

大豆の有効な成分

イソフラボン
サポニン
食物繊維

大豆には、イソフラボン、サポニンなど活性酸素を消去する植物性成分が豊富に含まれます。

高脂血症・高血圧

大豆の有効な成分

イソフラボン
大豆たんぱく質
レシチン

イソフラボンを含む大豆たんぱく質をとることで善玉コレステロールが増え、悪玉コレステロールが減ることが確認されています。また血圧を安定させる効果も認められています。

Q

生活習慣病の予防には
どの大豆食品を1日どれくらいとるべきでしょう？

A



様々な研究から、1日40mg～50mgのイソフラボンをとれば、生活習慣病の予防効果が期待でき、更年期症状も同じように改善がみられることがわかっています。1日にさほど無理なく食べられる量の機能性成分の含有量を示しましたので、ご参照ください。

大豆食品の成分比較

	1日の使用量の目安	たんぱく質 (g)	カルシウム (mg)	食物繊維 (g)	イソフラボン (mg)
納豆	ミニパック 1個(40g)	6.6	36	2.7	51
豆腐(木綿)	1/3丁(100g)	6.6	120	0.4	51
油揚げ	大1枚(30g)	5.6	90	0.3	21
きなこ	大さじ1杯(10g)	3.6	25	1.7	26
豆乳	コップ1杯(125g)	4.5	19	0.3	45

島田病院では、このニュース・レターが病院と患者様を結ぶコミュニケーションツールとなるよう願っています。ぜひ、みなさまからのご意見、ご感想を館内各所に設置している「きくぞう君(ご意見箱)」までお寄せください。